

テーマの全体像を明らかにするマトリックス法 ～学んだことを活用するために③～

ねらい

○講演を聞いたり、テーマに関するお互いの情報交換をしたりした後で、今後の具体的な方策等について、様々な観点からアイデアを出し合うことができる。

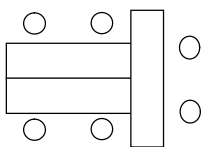
特徴

思考整理 ★★★★★☆
気付き ★★★★★☆
仲間作り ★★☆☆☆☆

活動の様子

(1グループ 5～6人程度)

【グループのメンバーの配置例】



【準備物等】

・ワークシート
(各グループ1)

「登校時の安全確保」というテーマでは、「関係者」と「交通」という変数で、それぞれの項目を設定することができますね。

※マトリックス例…【テーマ】登校時の安全確保

関係者	教師	児童生徒	保護者	地域住民	行政	関係機関
交通						
通学路の環境	毎月点検					
道路の使用者の通行			ちらし配布			
児童生徒の登校		登校班制		見守り運動		
緊急体制						連絡網

主な流れ(例)

- 1 テーマに沿って考えられる切り口(変数)を洗い出す。
- 2 変数を2つに絞り込んで、縦軸、横軸を決める。(例:「関係者」と「交通」)
※時間に限りがある場合は、1・2については、主催者側で予め設定しておくもよい。
- 3 2つの変数それぞれについて、項目を洗い出す。(例:「教師」、「通学路の環境」等)
- 4 項目を数個に絞り込んで、縦軸、横軸に記入する。(例:上表参照)
- 5 活動が途中で、時間で終了し、グループ単位でマトリックスを見せながら発表する。

運営上の留意点

この手法は、現状分析にも、課題解決にも使えます。

それぞれのマスをうめる際には、現状については黒字、解決策については赤字で書くなどの工夫をすることもできます。いずれにせよ、マスに入れることはないか十分考えることが重要ですが、必ずしもすべてのマスが埋まらなくても構いません。

講座内容や目的に照らして、最も時間をかけるのはどの作業なのかを見極めましょう。